

◆日本共産党の見解を紹介します。

http://toride.jcpweb.net

メール jcp.toride@blue.ocn.ne.jp

◆ご意見、ご要望をお寄せください。

明るい取手

2012年7月8日(日)

発行:日本共産党取手市委員会

取手市井野3-19-6 TEL.72-7816

生活のお困りごとなどお気軽にご相談を

- 高木晶市委員長/TEL:74-2004
- 加増みつ子市議/TEL:74-8154
- 遠山ちえ子市議/TEL:83-8290
- 鈴木きよし市議/TEL:74-8160
- 関戸 勇市議/TEL:78-0500

消費税増税ストップ、TPP参加許すな、原発ゼロの日本へ

つくば国際会議場で志位和夫委員長を迎え演説会



日本共産党茨城県委員会は1日、つくば市のつくば国際会議場で志位和夫委員長を迎えた演説会を開きました。会場は第2会場まで満席となり、2000人以上が参加しました。ご参加、ご協力、ご支援をいただきありがとうございました。

日本共産党は衆議院茨城3区の予定候補を発表しました

小林きょうこ候補は24年間、県南農民組合の事務局長として働き、農家のみなさんの願いはもちろん、いのちと健康を守る食糧問題や、女性の社会参画、何よりも平和を願い続けてきた人です。「民主党政権にはがっかり」「自民・公明政治に戻りたくないけど…」。みなさんの願いをこころは日本共産党へ。よろしくお願いします。

ご一緒に政治を変えましょう

みなさん、こんにちは。小林きょうこです。

24年間、農民組合で働いてきました。いま、「TPP交渉参加で農業・食糧がつぶれる」「原発事故で農作物に影響が出ている」の声を聞くと、居ても立ってもいられません。国会に署名を届けたり、集会に参加する中で「この思いを国会に届ける議員を増やさないと」と立候補を決意しました。

ご一緒に政治を変えましょう。
よろしくお願いします。

衆議院茨城3区予定候補

小林きょうこ

【茨城3区】

取手市、守谷市、龍ヶ崎市、牛久市、稲敷市、利根町、河内町、阿見町、美浦村



小林きょうこの略歴

◆1950年11月12日生まれ(61歳)◆龍ヶ崎市在住◆鹿児島県霧島市隼人町に生まれ1971年3月に鹿児島女子短期大学卒業。東京科研工業(株)勤務を経て72年1月マックスファクター(株)勤務。メイクアップアーティストとして輝く女性を演出。◆88年4月から、県南農民組合・事務局長。子どものアレルギー急増のもと、「安全で安定した食糧は日本の大地から」と全国初の女性事務局長として、母親の目線で産直運動などを実践。横浜港での輸入農産物の実態を知らせ、食料自給率向上にむけ、豊かな国産農産物を守り発展させるため、生産者と消費者の共同を展開。また、農家のくらしと経営を守る税金相談などにもとりくんできました。

「取手駅西口開発」を考える シリーズ⑥(裏面)

一人で悩まずに お電話を
生活相談・労働相談 電話 72-7816

弁護士無料法律相談 電話72-7816

7月14日(土)午後2時~4時

「取手駅西口開発」を考える

シリーズ

⑥



「旧東急ビル」再開へ向けて

繰り返した駅前開発の失敗。これらの反省もなく、市民不在で進む「ウェルネス・タウン取手市の創造」構想。そして公有地売却への消えない疑惑…。市民の圧倒的な願いは「旧東急ビル」の再開。改めて取手駅西口開発について考えてみましょう。ご意見をお聞かせください。

シリーズ①～⑤はホームページに掲載しています。

市民の
願いは

「旧東急ビル」再開で 買い物便利・にぎわいの 駅前に

東急ビルは、取手市が第一種市街地再開発事業として取手駅西口前広場やデッキ等とともに施行し、完成したのが1985年。とうきゅうストアの25年間の営業に終止符を打ち、閉店(2010年8月31日)から2年が経とうとしています。商業施設「旧東急ビル」の再開を願う市民の声は強まるばかりです。

ますます強まる「旧東急ビル」再開の要望

駅前には「暗くてさみしく買い物に不便」と、「旧東急ビル」について市民が等しく再開を求めています。駅前に必要な公的施設は、新たな建物建設・ウェルネスプラザより「旧東急ビル」の活用が有効です。これは圧倒的多数の市民が考えていることです。「旧東急ビル」に「公的施設が導入されれば、商業テナント出店も可能になる」と、地権者のみなさんも願っています。「旧東急ビル」再開は市民、地権者の共通の願いです。

なぜ?空きビルを活用せずルール違反の箱もの建設

取手市が策定した「ウェルネスプラザ」整備計画の概要について、「明るい取手」前号(シリーズ⑤)で紹介しました。駅前には商業中心となっている市の街づくり計画に合わない「ルール違反」で強行する計画に市民の要求があるのでしょうか?

「旧東急ビル」の活用を求める市民や地権者の声に背を向けて、取手市は施工者としての責任を投げ捨て、「旧東急ビル」再開には極めて消極的です。閉店してから2年が経とうとしているのに空きビルのままです。一方で、新耐震基準を満たす鉄筋コンクリートの野々井保健センター、藤代保健センターまでも閉鎖して、取手駅前に新設しようとしている「ウェルネスプラザ」に押し込もうとしています。こんな安易な計画では市民の合意は得られません。

健康・福祉・医療は暮らしの身近にあってこそ

各種健康診断、予防接種と健康・栄養・育児指導等を行い、市民の健康を守る行政の役割の中心を担っているのが保健センターです。野々井・藤代両保健センターを中心に、各種医療機関との連携で、市内各地の公共施設も活用し健診等の事業が行われてきました。

健康・福祉・医療の行政機能は、住民の身近な所にこそ必要です。一ヶ所に集中させ保健師等職員不足をまかなうための駅前へのセンター統合でなく、必要な職員配置で現センター機能の拡充こそが求められています。

過去の投資無駄にするのか ビル再開で街づくり・商工振興に生かすのか

「旧東急ビル」は、周辺整備を含め総事業費100億円以上をかけた市街地再開発事業として取手市が施行した大事業です。「旧東急ビル」閉鎖で西口デッキも効果半減、過去の投資を無駄にするのか、それとも、市民の願いに応え「旧東急ビル」再開で駅前ににぎわいを取り戻し、取手の街づくりと商工振興に役立てるのが問われています。取手市の責任と役割がますます重要な時をむかえています。

こうすれば再開できる「旧東急ビル」

- ① 空きビル対策:テナント料引き下げに固定資産税減免、テナント出店への改装費等助成。
- ② 国の中心市街地再生のための空きビル再生支援策の活用。
- ③ 新たな箱もの建設より市民が駅前に必要とする公的施設の「旧東急ビル」への導入。
- ④ 地権者の合意により、消費者、商工団体、取手市等による(仮称)「旧東急ビル」再開協議会を設置し、新テナント・公的施設導入等ビル再開へ行政がリード促進する。

日本共産党が実施した 買い物アンケートに 寄せられた声から

新町、中央タウンのみなさんを対象
に実施(2011年)

- 東急ストアは、1-8Fあるが、1Fと2Fだけでもよい。全部一度にやるとなかなか出来ない、出来ることから一つ一つやれば必ず出来ると思う。
- リブレ京成跡にも出店があればと思うが、東急ストア跡にはスーパーの出店は絶対に必要だ。ボックスヒルの肉・魚・野菜などは前より値段が上がっているようで買いにいけない。
- 東急ストア跡地のビルが、地域活性化につながるように公共性+スーパーといったような使い方も考えてほしい。
- 取手駅前の活性化は取手市としても何とかしてほしい。活性化しなければ人も離れてゆきゴーストタウン化してしまう。税金の優遇(2~3年の軌道にのるまで)など暫定的な対策も必要。
- 「市の顔である駅前には大型店もなく、人通りも少なく、寂しい町になってしまった。本当に悲しい」
- 「取手はいい所だと聞いていたのに、引越してきたら次々と店がなくなって、ガッカリしている」
- 「この地域は買い物難民の町だ。この町を去る人が増え、いずれゴーストタウンになるのではないか」
- 「取手駅に降りたら、店がないなんて信じられない光景だ。市は何をやっているのか。腹が立って仕方ない」
- 「買い物難民に対し、市の対応が遅い」
- 「茨城県で最も東京に近い市であるのに、この衰退ぶり。行政の怠慢のなせるわざだ」



空きビルのままの「旧東急ビル」
(2012.7.3撮影)